

議事録：相馬野馬追 VR 撮影 撮影ポイント・ロケハン打合せ

1. 基本情報

会議名	相馬野馬追 VR 撮影 撮影ポイント・ロケハン打合せ
日時	2026/05/13 (水)
参加者	河合 (COO Inc.)、及川 (オフィシャルカメラマン)、太田 (COO Inc.)、仙台 (COO Inc.)、藤林 (COO Inc.)
形式	オンライン

【背景】相馬野馬追は福島県南相馬市で毎年開催される伝統的な馬の祭事。COO Inc.は8K/3D/180° VRでの撮影を受託。及川裕喜氏（野馬追オフィシャルカメラマン）と撮影ポイントの棲み分け・連携を詰めるための打合せ。5/15にロケハン予定。

2. 議題一覧

- 追加撮影シーンの確認（殿からの提案内容の読み解き）
- 御行列の撮影ポイント配置と及川さんとの棲み分け
- 甲冑競馬の撮影ポイント配置
- 神旗争奪戦のドローン撮影計画
- 野馬懸（のまかけ）@小高神社の撮影配置
- 騎馬武者へのカメラ取り付け方法
- 5/15 ロケハンのスケジュール調整

3. 各議題の詳細

議題 1：追加撮影シーンの確認

【結論】

殿（相馬行胤氏）から提案された追加撮影シーンを及川さんの知見をもとに整理。不明点は5/15ロケハン時に殿に直接確認する。

【経緯】

- 出陣式：7/23に複数の郷がそれぞれ実施。殿は宇多郷、及川さんは標葉郷を撮影（別場所）。

- ・甲冑の工場シーン：門馬軍師の自宅での出陣式的儀式の可能性。→殿に確認。
- ・月鉾（つきほこ）：総大将横にカメラ設置で「総大将目線」が撮れる。7/24か。→殿に確認。
- ・御使番の伝令：侍大将→総大将への伝令シーンを総大将目線で撮影。→殿に確認。
- ・よいのり競馬：優先度低め。「ここでも撮れるよ」程度。
- ・安全祈願祭：撮影ではなく顔合わせ・面通しの場。間に合うように行くことが重要。

【用語】号（ごう）＝武将の家系・地域ごとのグループ。総大将＝野馬追全体を統括する最高位の騎馬武者。御使番＝総大将と各部隊間の伝令役。

議題 2：御行列の撮影ポイント配置

【結論】

- ・ C1/C2（御成参道付近）→VR カメラ配置（馬に近い）。
- ・ C3→削減（及川さんの県道撮影素材を借用）。
- ・ C4→遠すぎ、意味薄。
- ・ C5（やぐら上）→御行列入場時はやぐら立入禁止のため使えない可能性。15日確認。

【経緯】

及川さんは4人体制。標葉郷あたりで2人、県道沿いで直線を狙う。C3は及川さんのポジションと重複するため削減候補。C5のやぐらは「高いところにはいけない」ルールあり。幼鳥の坂にスペースがあれば高所撮影の可能性も。

【補足】御行列＝騎馬武者が甲冑姿で市内を行進するイベント。C1～C5＝事前設定の撮影候補ポイント番号。

議題 3：甲冑競馬の撮影ポイント配置

【結論】

- ・ C1（スタート）→及川さんの素材借用。COO 側配置なし方向（15日最終判断）。
- ・ C2～C4→馬場内走行シーンを複数ポイントで撮影。
- ・ C5（第一コーナー）→及川さんも同エリア。有料チケット客の後ろからになるため15日確認。
- ・ 報道やぐら→神旗争奪戦時はやぐら上から撮影可能だが場所取り争いあり。

【経緯】

報道陣は馬場内の緑エリアで撮影。馬場内に入れるのは関係者と報道腕章保持者のみ。及川さんはC1で公式PV撮影許可を取得済みだが、COO側の当日交渉は厳しい可能性。

議題 4：神旗争奪戦のドローン撮影計画

【結論】

実現を目指す安全面でハードル高い。会場外からの飛行を軸に検討。15日に離発着候補地を探す。360度カメラで試し撮りも実施。

【経緯】

花火で旗を打ち上げ、騎馬武者が奪い合う。全16回、西・東から交互に打ち上げ。1発で2旗落下。河合の構想はドローンを花火と一緒に上昇させ「花火目線」のVR映像を撮ること。

及川さんの見解：馬場直上は確実にNG。花火当たるリスク、馬を傷つけるリスク、観客上空も危険。会場内で飛んでいるドローンは見たことがない。会場外は木に囲まれ直接視認できない可能性あり。

太田さん提案：15日に一脚+360度カメラで高所テスト撮影。オスモポケットも持参して比較。背景に山や街並みが映る方角からの撮影も検討。

【用語】神旗争奪戦=野馬追クライマックス。花火で打ち上げた旗を数百の騎馬武者が奪い合う。本陣山=総大将が陣取る高台。

議題5：野馬懸@小高神社の撮影配置

【結論】

及川さんはC3（小高神社背景）で1人撮影。COO側は被らない位置に複数台配置（C2/C4）。場所取りは当日朝6~7時必須。

【経緯】

白装束の御小人が裸馬を素手で捕まえて奉納する儀式。馬は3頭、最初に捕まえた馬が神馬。坂の途中に撮影スペースあり。一般の方も場所取りするため7時でも良い場所は取られている。6時台推奨。

【用語】野馬懸=最終日に小高神社で行われる神事。御小人=白装束で馬を捕まえる役割の人々。

議題6：騎馬武者へのカメラ取り付け方法

【結論】

甲冑競馬・神旗争奪戦中は困難。御行列時にクリップ式マウントが最有力。15日に全マウント持参しテスト。バックアップとして競馬以外のシーンで騎馬目線を確保。

【太田さん調査結果】

1. クリップ式：鎧に挟んで固定。強力で行列時には十分。→最有力候補。
2. ショルダー型：鎧着用前に装着必要。鎧下に仕込めれば安定。事前協力要。
3. ヘッドマウント型：頭に装着。見た目の問題あり。
4. マグネット式：最も外れやすく落下リスク高。鎧には不向き。

議題7：5/15ロケハンのスケジュール調整

【結論】

12 時頃に小高神社で集合→現場確認→午後に雲雀ヶ原で及川さんと合流（14 時～公式 PV 撮影位置確認に同行）。中村神社は 7/22 に直接挨拶できるならカットでもよい。

【経緯】

小高神社と雲雀ヶ原は近いが、中村神社は雲雀ヶ原から 30 分、小高神社は 20 分。全部回るとハード。殿からの返信を待って 12 時小高神社を確定させる。14 時からは及川さんの公式 PV 撮影位置確認がメイン。

4. 決定事項

- ・ C3（御行列）は削減。及川さんの県道撮影素材を借用。
- ・ C1（甲冑競馬スタート）も及川さん素材借用前提で COO 側配置なし方向（15 日最終判断）。
- ・ 神旗争奪戦・野馬懸は及川さんと被らない位置に分散配置し素材を相互提供。
- ・ 騎馬武者カメラは御行列時にクリップ式で実施。甲冑競馬中は見送り。
- ・ ドローンは会場外からの飛行を軸に検討。会場内は安全上 NG。
- ・ 15 日に 360 度カメラの高所テスト撮影を実施。
- ・ 5/15 ロケハン は 12 時頃に小高神社集合を目指す（殿への確認待ち）。

5. アクションアイテム

#	担当	タスク	期限
1	河合	殿からのメール返信を待ち、5/15 スケジュール確定連絡	5/14
2	河合	5/15 ロケハン後に VR 班分科会で最終撮影配置を確定	5/15 以降
3	河合	宇多郷の武者にカメラ装着テストを打診（殿経由）	5/14
4	及川	撮影ポイント資料をメールで再送	要確認
5	太田	カメラマウント 4 種を 15 日に持参	5/15
6	太田	360 度カメラ＋一脚＋オスモポケットで高所テスト撮影	5/15
7	藤林	ドローン離発着候補地を 15 日ロケハンで特定	5/15
8	仙台	レンタカー手配済み・当日移動担当	5/15
9	河合	ドローン運用について来週オンライン打合せ設定	5/15 以降
10	全員	野馬懸の場所取りのため本番当日 6～7 時に小高神社到着	本番当日

6. 次回会議

- ・ 日時 : 5/15 (木) ロケハン現地 → 同日夕方以降に VR 班分科会
- ・ 議題 : 撮影配置の最終確定、ドローン離発着地点の決定、カメラマウント装着テスト結果の共有